

別紙2

事業所名 グループホームしなのき真宮

目標達成計画

作成日: R5 年 5 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	(災害対策) 火災訓練時の夜間を想定した訓練があまり行われていない。また、水害時を想定した訓練があまり実施されていない。	水害や夜間帯を想定した訓練を定期的を実施する事で、災害時に全職員が同じ行動を実践出来るように訓練を計画する。また、防火管理者を中心に年間計画を作成し、それに基づき実践的な訓練を行う。	年間計画に基づいて、訓練を行い、昼夜を問わず、災害時に職員が入居者様を的確に避難誘導出来るように実施訓練を行う。また、事前に地域住民の方々にお声掛けする事で、災害時の協力体制を確立する。	6ヶ月
2	6	来年度から身体拘束及び虐待防止委員会の実施が義務化されるため、支援部会主催の3ヶ月に1回の会議時には、密に連携取らなければならない。	身体拘束虐待防止委員会を定期的を開催し、身体拘束についての意識や啓発に努める。	虐待防止委員は会議の内容を職員に申し送りを行い職員間へ周知徹底する。身体拘束の指針を事務所内に設置し、職員が内容を把握できるように努める。	3ヶ月
3	26	ケアプランに対してのモニタリングや状態把握について周知出来ていない。	ケアプランに準じてのモニタリング、現状の把握が出来るようにルール化する。	担当職員や他職員にも入居者様の状況や状態の変化等の意見を確認しながら、モニタリングを進めて行く。また、全職員が周知できるように申し送りを行い、統一を図る。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。